

<認知症対応型共同生活介護用>  
<小規模多機能型居宅介護用>

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	項目数	8
1. 理念の共有		1
2. 地域との支えあい		1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用		3
4. 理念を実践するための体制		2
5. 人材の育成と支援		0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応		0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援		1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		5
1. 一人ひとりの把握		1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し		1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援		0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働		3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		6
1. その人らしい暮らしの支援		4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		2
合計		20

事業所番号	1472101235
法人名	社会福祉法人 伸こう福祉会
事業所名	グループホーム クロスハート二階堂・鎌倉
訪問調査日	平成 29 年 2 月 8 日
評価確定日	平成 29 年 3 月 31 日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

**○項目番号について**  
 外部評価は20項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

**○記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [次ステップに向けて期待したい内容]  
 次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

平成 28 年度

## 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1472101235	事業の開始年月日	平成17年2月1日
		指定年月日	平成29年2月1日
法人名	社会福祉法人 伸こう福祉会		
事業所名	グループホーム クロスハート二階堂・鎌倉		
所在地	(〒248-0002) 神奈川県鎌倉市二階堂267-67		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成29年1月18日	評価結果 市町村受理日	平成29年5月25日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

鎌倉宮の奥に位置し、自然豊かで静かな環境です。昨年テラスを改築し広げて外から入れるようにし、週末の午後は地域の皆様に開放しています。法人のグループホーム理念で「楽しくきれいにいつまでも」を心がけています。地域の皆様と共助・互助の関係となれるよう地域の行事にも積極的に参加しています。AED拠点としてAED講習会も開催、近隣の方にミニセミナーも行ないます。職員の知識・技術の向上をめざし研修を充実させてますご入居者様・ご家族の思いや願いを尊重し個別ケアを実践しています。また、外出支援にも力を入れ、地域とのつながりに努めています。

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Y ビル2F		
訪問調査日	平成29年2月8日	評価機関 評価決定日	平成29年3月31日

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

●この事業所は、社会福祉法人伸こう福祉会の経営です。同法人は神奈川県を中心に11カ所のグループホームをはじめ、特別養護老人ホーム・デイサービス・小規模多機能型居宅・保育園など多くの福祉事業所を運営し、多岐に亘るな福祉サービスを展開しています。法人の理念「たくさんのよきものを人生の先輩たち、後輩たち、そして地域に捧ぐ」と7つのクロスハートベシックを掲げ、職員はスタッフハンドブックを携帯し、全体ミーティングで読み上げ共有してケアに臨んでいます。場所はJR横須賀線「鎌倉駅」から、京急バスに乗り「大塔宮」停留所下車、徒歩10分程の鎌倉宮の奥のとても静かな住宅地の中に位置しています。

●昨年、念願だったテラスの改築が完了し、外から入れるようにしました。週末の午後には「おしゃべりサロン」の看板を出し、お茶とお菓子を用意して地域の方々に開放しています。月に1回は訪問美容と、合間に本格的なコーヒーを飲める訪問カフェの来訪もあり、近隣の方にとっても憩いの場になっています。昨年は子供会でハローウィンが行われ、地域からの依頼で「子供達の集合場所」として提供し、カボチャなどの飾りつけやお菓子を振る舞うなど、親と子で80人程が仮装して集まり、盛大に行われました。また、散歩中に声をかけてもらったり、お花を頂くなど、地域とは共助・互助の関係を目指しています。

●法人で「ソーシャルワーク研究会」を立ち上げ、管理者もオブザーバーとして関わり、1年かけ法人統一のアセスメントシート(自立サポート表)を作成しました。周辺症状・家族の要望・本人の思い・ADLが書かれ、全員が使いこなせるように勉強会を行っています。利用者の理解、スタッフのレベル向上だけではなく、利用者が他の事業所に異動してもケアの共有に繋げることを目標としています。

## 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	クロスハート二階堂・鎌倉
ユニット名	A棟

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

1.47E+09

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

事業所名	クロスハート二階堂・鎌倉
ユニット名	B棟

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

1.47E+09

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念「たくさんのよきものを人生の先輩たち、後輩たち、そして地域のみなさまに捧ぐ」とクロスハートベーシックを共有また地域密着サービス事業所にて地域の皆様のお役に立てるよう常に近隣の方とも交流、情報を得てミーティングで話し合い実践している	法人の理念を事務所に掲示し、職員はスタッフハンドブックを携帯しています。クロスハートベーシックは全体ミーティングで項目ごとに読み上げ、共有して理解しケアに臨んでいます。2016年度の方針は「外に出よう」で、積極的に地域の方と関わり、交流を図っています。	今後の継続	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	テラスを改築し、道路からも入れるようにして、週末の午後は地域の皆様に開放している、地域の行事に参加や協力、当ホームの行事にお誘いしたり、ミニセミナーやカフェサロンを開催している。	念願であったテラスを改築し、おしゃれな花壇やテーブルセットを並べ(おしゃべりサロン)を週末に地域に開放しています。また、ランチ会でのミニセミナーで、感染症や認知症の講習を行うなど地域向けに情報を発信しています。教会からの傾聴ボランティアや、ギター・フラダンスのボランティアの来訪があり、今後は手芸の方にも来ていただく予定です。	今後の継続	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ミニセミナーを開催したり、見学時や行事の際に相談対応させて頂いている、電話での相談時も質問に対しては丁寧な説明を心がけている。わかりやすいパンフレットなども提供している。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回開催し、運営状況や取り組んでいること、力を入れたいことなど報告 意見もお聞きしてサービスの向上に役立てている。	運営推進会議は2ヶ月に1回、市職員、包括支援センター職員、自治会長、民生委員、家族、近隣住民代表、事業所関係者の出席で開催しています。利用者や職員の異動報告、介護度の説明、テラスの活動報告などを行い、参加者からは、アドバイスをいただき、サービスの向上に活かしています。	今後の継続	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の介護保険担当職員も運営推進会議に参加していただいている。市主催のイベントや研修に参加・ファシリテーターも協力している、また地域密着サービス連絡会やケアマネ連絡会にも参加しているので、毎月市職員とは顔をあわせている。	鎌倉市の職員は運営推進会議に出席してくれており、市主催の研修やイベント等もあり、毎月顔を合わせているので、協力関係は構築できています。管理者はケアマネ連絡会の副代表をしており、企画・研修などにも関わっています。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の研修に参加、スタッフ全員に周知させ、身体拘束をしないケアを実践している。	身体拘束に関しては、法人の方針に掲げ、年間の研修計画にも組み込まれており、スタッフ全員に周知させて、拘束の無いケアを実践しています。言葉遣いについては、事業所内研修で学び、管理者が気付いた時には、その場で注意するよう心掛けています。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修も毎年実地している、お互いが言葉がけも意識して注意しあえる環境になっている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する研修も毎年行っている 後見人制度についても研修している、市主催の説明会や講習はかならず参加しスタッフに周知している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては、問い合わせや見学時から何度か説明し、ご理解いただいてから、契約日に確認して契約している、改定については、事前に文書で案内して、質問等受けて納得していただいてから改定文書に署名。捺印をいただいている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見ボックスを玄関に設置し、お客様が理事長に直接伝える仕組みがある、また、苦情窓口も詳しく説明、市や国保連にも相談できることを周知させている。	苦情窓口は重要事項説明書に掲載し、玄関に法人の意見Boxを設置し、直接伝えられる仕組みになっています。日頃管理者は、家族の来訪時に意見や要望を聞くよう努めています。家族からは、外に連れて行ってほしいと言う要望が多く、事業所では外出支援に力を入れています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のミーティングでスタッフの意見を聞く機会を設けている、法人本部にも直接、スタッフの意見や提案できる仕組みがある	ユニット毎のミーティング、合同ミーティングを毎月1回ずつ開催し、その中で意見を聞く機会を設けています。理事長Boxにはスタッフも意見や要望を記入し理事長へ伝えられる仕組みになっています。日頃から職員との関わりを多く持っているため、管理者は職員の状態を理解しており、都度話を聞くようにしています。	今後の継続	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回、各自を評価して賞与に反映、年度末には昇給にも反映させている 職場環境を良くして職員の定着に努めている。毎年、管理者がスタッフ一人一人面談し意向の確認や意見を聞いている。			
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で、クロスハートカレッジ研修が整備され全員受講の義務化、他に外部研修、内部研修も充実している、個々のスキルにあった研修に参加できる。			
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域密着サービス連絡会や市主催の研修・交流会があり、同業者との交流の機会が多い、また法人内の同業事業所の集まりもあり、意見交換や相談、勉強会など行いスキルアップを図っている。			
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	訪問調査時や入居時に十分なアセスメントを行い、生活史・個人因子・趣味等を把握、十分伝えられない利用者には言葉・行動・表情から気づきのケアを実践し、信頼関係を大切にしている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の相談の段階から、ご家族の願いや困りごとを聞きケアに反映させている。入居後もご家族とのコミュニケーションを図り、信頼関係を築いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居に至った経緯とご本人・ご家族との面談で、「今、必要な支援」をまずは提供しさらに未来予測も立て、ケアに努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒にここで暮らしている感覚で、お互い協力し、役割分担して家事をこなしている買い物・散歩・ドライブ・外食など一緒に出掛けて楽しんでいる、屋内でもみんなで楽しく過ごせる環境作りを心がけている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族とのコミュニケーションは日頃から大切にしている、近況報告やスタッフの気づきなどお伝えしている、あまり面会に来ないご家族には連絡し、来訪の促したり、ご事情をお伺いしたり連携を図っている、外出支援をお願いしている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人が暮らしていた地域へ出向いて、買い物やイベントを楽しんだり、ドライブしたり地域に馴染んでいる、昔からの友人や知人にご家族承諾の上、来ていただいたりご本人と地域のつながりは大切にしている	個別対応で、本人が暮らしていた地域に出向いたり、行きつけだったお店にお連れすることもあります。また、友人や知人とは家族に承諾を得て、同法人の別の施設に入居している幼馴染と会う機会を作ったり、知人の来訪も受け入れるなど、馴染みの地域や知人・友人との関係が途切れないように支援しています。	今後の継続



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者同士が楽しく会話できるよう場のセッティングであったり、さりげなく傾聴して話を深めたり、利用者同士、作業を共同でしていただいたり、レクを一緒に楽しんだり、他者と関わりのある日常にしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院、転入時の相談援助・情報提供を行いご家族のフォローに努めている、また看取りでご逝去されたご家族の心のケアもさせていただき、その後の関係も大切にしている、転入先に面会もさせていただきフォローに努めている。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時に十分なアセスメントを行い、希望や思いを尊重し、ケアに反映させている。ご自分の思いが言葉に出せなかったり、表現できない場合は、ご家族からの聞き取りご本人の表情や行動から察するように心がけている。	入居時に家族にセンター方式を利用した生活シートを書いてもらい、十分なアセスメントを行い、その方の過去を知った上で可能な限りケアプランに反映させています。入居後は24時間観察し、分かったことをその都度記録し共有しています。今は、言葉に出して言える方が多いですが、言えない方は表情や仕草から読み取り本人本位に検討しています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前から面談やアセスメントシートから読み取り、ご本人がどのような生き方をされてきたのか、趣味や仕事、習慣にしていたことなど把握し、入居後も趣味やお好きなことなどが活かされその人らしい過ごし方ができるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の生活の記録・水分・排泄の記録・主治医・訪看との連携・必要時24時間シートの活用・ご本人の状態把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のミーティングやカンファレンスでご家族・ご本人・医療機関・スタッフの意見を聞き、話しあったことをプランに反映させている。	アセスメントを全員で行い、チームでカンファレンスをし、ケアプランを作成しています。3ヶ月後に再アセスメント、モニタリングしたものを共有し、ニーズが出たことをプランに反映させています。家族には来訪していただき、口頭で説明して承諾を貰っています。	今後の継続	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活の記録・水分・排泄の記録の他に個別ケアノートの活用、センター方式の書式も必要に応じて活用し、スタッフ間の共有を図り、プランの見直しやケアの手順等の見直しに活かしている。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人・ご家族の状況変化や重度化に伴い今やるべきことは何かを見極め、既存のサービスに捉われない柔軟な支援に取り組んでいる。			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの方に見守りやレクを一緒にやっていただいたり、近隣のお寺や公園で優遇していただいたり、散歩で声をかけやお花を頂いたり、お店に誘って頂いたり地域で利用者を支える体制を築いている。			
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にご家族・ご本人に説明し、了解を得て、提供している医療機関と契約していただき、元々のかかりつけ医がご希望の場合は、そのままかかりつけ医に継続していただくことも自由、その際の連携も強化内科は月2回、皮膚科・精神科・整形外科は必要に応じて、歯科は週1回の訪問診察。	入居時に家族に説明していますが、ほとんどの方に提携の医療機関と契約していただいています。難病の場合には、従来のかかりつけ医を継続の場合もあります。内科は月2回の往診、歯科は週1回の訪問診察があり、嚥下指導も丁寧にして頂いています。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週、訪問看護師にご入居者の状態を伝え、専門的な意見・指導を受け健康管理に努めている、24時間オンコール体制をとっている、常時相談もできて連携をとっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、病院に情報提供し適宜、様子を見に行き、病院との連携している、退院の見通しがついたら、医療連携室と連絡して担当医師・ナース・msw・リハ職・ご家族も含め、退院カンファを開催していただく病院とは、日頃顔の見える関係作りに努める。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化や看取りケアについては十分説明し理解を得ている。重度化した場合は、その都度医療機関を含めてご家族との話し合い、今後の支援の方向性を決めている看取りケアもご家族の希望やご本人の希望に応じて医療機関とチームで連携。	入居時に重度化や看取りのケアについては十分に説明し、家族の理解を得ています。事業所では、今までに4人の方の看取りの実績があります。重度化した場合には、今後の方針も含めて医師、家族との話し合いの場を設け、方針を決めています。職員の不安を解消するための、看取りケアの研修も行っています。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応は、繰り返し研修している マニュアルも備えていつでも閲覧できるようにしている、医療機関からも指導を受けている、管理者が個別にスタッフの能力の確認し、個別指導している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災避難訓練を地域の方にも声掛けして参加していただいている、自治会の訓練も参加して、日頃からいざの時のシュミレーションしている。	防災訓練は年2回、消防署立ち合いで行っています。利用者も本番同様に滑り台を使った実践的訓練に参加しています。近隣の方には利用者の見守りをお願いして参加してもらっています。自治会の訓練には元気な利用者と共に参加し、近隣の方には避難場所としても受け入れることが出来る旨を伝えています。備蓄は3日分用意しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者には、人生の先輩として敬意を払い接している、自尊心や羞恥心に配慮した言葉がけやさりげない対応を心がけている。	職員には利用者に対して、敬意を払って接することを徹底して指導しています。入職時研修ではコンプライアンスから法令遵守について学び、年間研修でも言葉遣いやプライバシーについて学んでいます。利用者が安心して暮らせるよう、忙しい時でも声を掛けられたら必ず一度立ち止まり、声掛けしてから動くようにしています。要望があれば、同性介助による入浴も行っています。	今後の継続	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人がやりたいことや願いを聞いたり、表情を読み取ったり意思疎通を図っている遠慮なくいえる環境を整え、自己決定できるよう働きかけている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝食は、その方の時間に合わせて提供している、ご入居者、個々のペースに合った支援を提供させていただいている、その日気候がよければ、ドライブの希望を叶えたり、臨機応変に対応している。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日の整容はもちろんのこと、その日の服装を一緒に選んだり、美容室に来てもらいパーマや髪染めを楽しんだり、女性は化粧やマニキュアを楽しんだり、おしゃれを楽しんでいる。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたいものを聞いて、買い出しに一緒に行ったり、下ごしらえやテーブルの準備など役割を決めてお手伝いして頂いたり、和気藹々を楽しんでいる、後片づけも一緒に行っている。	配食サービスを利用していますが、週に一回は事業所で用意しています。食事には力を入れ、地元の鎌倉野菜を取り入れたり、季節の食事を取り入れるなど工夫しています。職員手作りのランチョンマットを敷くなどして、華やかな雰囲気です。寿司やピザの出前を取ったり、個別対応で、数人でレストランへ出掛けています。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量の記録、チェックをしっかりと行い、摂取量が少ない方には、時間に関係なく声掛け・介助・調理の工夫・捕食など適宜提供し健康管理している、たまには気分転換に外出して食事やお茶を楽しむことも行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの実地し清潔保持に努めている、週1回歯科診療があり、治療が必要ない方も口腔ケアは施行し、予防している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	24時間シートや排泄記録で、個々の排泄パターンを把握、その方に合った排せつ介助を行っている。	24時間シートを1週間記録、排泄記録と共に個々の排泄パターンの把握に努めています。誘導すれば出来る方出来ない方を把握し、カンファレンスでその方に合った介助方法を決めています。一人ひとりの仕草を見てトイレ誘導し、トイレでの排泄に繋げています。夜間も一人ひとりに合った対応をしています。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の排泄パターンを確認して、引水を促したり、牛乳など便秘便秘に効く食べ物を提供したり、個別に運動したり工夫している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は決めているが、希望入浴も考慮している、また個別対応で保清のために連続して入浴もあり、入浴剤で温泉気分も味わっていただき、楽しめるように努めている。	基本は週2回、午後から夕食前に入浴できるように支援しています。1階にはリフトが設置されていますが、現在使用している方はおらず、重度の方も2人対応で入浴していただいています。入浴剤やゆず湯等で、目先を変えた支援も行っています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中、居室で休まれる方やフロアで休まれる方、個々の習慣に応じて自由にお過ごしいただいている。就寝時間も決めていない		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方内容は、入居者個人ファイルやお薬手帳で確認でき、服薬状況・副作用や留意点は毎日のミニカンファで共有している、管理薬剤師が定期的に訪問、薬でわからないことや相談ごとなど対応していただいている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	それぞれ、得意なことやお好きな家事を役割分担している、嗜好品も楽しんでいただいている。レクの工夫や外出支援で楽しみや、気分転換を図っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的に外出支援は行っている、誕生日の食事会や、おしゃれなお店でお茶したりご家族と食事や買い物や墓参りに行ったり、地域の行事に参加したり外出支援を行っている。	外出には力を入れ、天気の良い日には車椅子の方も散歩し、元気な方は鎌倉宮まで行くこともあります。ドライブで海まで行き、喫茶店に寄ることもあります。季節毎に、花見やバラ園、鯉のぼり、菖蒲園等を楽しみ、10月には家族にも声掛けし箱根まで遠出をしました。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人のご希望に応じて、預り金の中から必要額をお渡しして日用品をご自分で購入できる支援をしている、またご本人がどうしても手持ち現金を持ってほしい希望があればご家族と話し合い、万が一紛失してもよいことの承諾で少額の現金を持っていただくこともしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	出来る方は、電話や手紙のやりとりを自由にやっただけにしている。ご自分だけではできない方は、ご家族了承のもと、お手伝いしている。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共通の空間は施設に出入りするすべての人が居心地よく過ごせるようインテリアも落ち着いた大人のイメージを演出している。生花も常に絶やさず季節感を大切にしている、光や音、空間も大切な環境と捉えている、清潔で明るい環境を保っている	法人の方針でもあり、インテリアは大人のイメージで統一しています。空気清浄機や加湿器を設置、掃除は利用者と一緒にしています。季節の花を絶やさないようにし、テラスの花壇も、利用者と共に手入れしています。利用者の手作りの人形や造花が棚に飾られ、籐の応接セットで思い思いに寛ぎ、水槽の亀やウーパールーパーで癒されています。	今後の継続	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有部分のお気に入りの場所にくつろいでいただけようようにしている、気のあった者同士が楽しくおしゃべりできたり、テレビをみたり、編み物などを一緒にやったりできる場所を確保し提供している。	居室にトイレと洗面台が設置されていることにより、身だしなみ		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、ご自分が使い慣れ親しんだ家具や道具を持参していただき、安心して、くつろいで過ごしいただけるよう配慮している。	備え付けとして、トイレ、洗面所、ベッド、カーテンが設置されていますが、家具や思いでの品を持ち込んでいただくように話しています。居室には、箆笥やテレビ、写真、机と椅子、ラジオ、位牌等が持ち込まれ、本人が居心地よく過ごせる空間作りがされています。居室にトイレや洗面台が設置されていることで、プライバシーも確保されています。	今後の継続	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	できること・わかることシートの分析をして、できることはもちろん、少しお手伝いすればできそうなことは試して、できることを増やす努力をすることで、ご本人の自信につなげたり、力を発揮できることで元気になれるよう支援している。			

# 目 標 達 成 計 画

事業所

グループホーム  
クロスハート二階堂・鎌倉

作成日

2017年2月8日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	29	昨年、テラスを改築し近隣に週末の午後解放しているが、周知不足か、あまり活用できていない	近隣の方に活用していただく。おしゃべりサロンだったり、入居者と交流だったり、子供会の集まりだったり企画も有志に出していただく	近隣の方に周知していただく活動を行う 月1回の訪問カフェをうまく合わせる 年間カレンダーの作成	3か月
2	13	スタッフ全員が、アセスメントができるようにならないとケアプランの理解も乏しい	アセスメントができることにより、入居者の臨床像が見えてきて、入居者のニーズの手立てが理解でき、他職種に意見が言えるようになること	インテーク用のアセスメントシートが記入できるようになる 情報不足が認識できること	1年
3					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。  
注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。



1.47E+09